

## 朝鮮民主主義人民共和国の核弾頭爆発実験に対する抗議声明

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は9月9日、同国北部の核実験場で「核弾頭の爆発実験を成功裡に行った」と発表した。長崎に原爆が投下された8月9日からちょうど1ヶ月後の日である。北朝鮮の核実験は、今年1月6日に水爆実験を行ったばかりで、今回で5度目となる。

北朝鮮は、声明の中で「実験は米国などの脅しと制裁への対応措置。われわれに手を出せば、立ち向かう準備ができているとの意思の誇示だ」と正当化し、「実験に使った核弾頭は、弾道ミサイルに搭載できるよう標準化・規格化されたもの」と表明した。

J R 東海労は、いかなる理由があろうとも、北朝鮮の核実験に対し、満腔の怒りをもって抗議する。

この間、軍拡競争は「平和」「抑止力」という美名のもと、エンドレスに行われてきた。つまり、「平和」「抑止力」を口実とした戦争準備である。平和な社会を実現するためには、全ての殺戮兵器の生産を止め、廃絶しなければならない。

いま日本では、多くの住民・国民の声を無視して、川内原発、伊方原発が再稼働している。原発の稼働は、プルトニウムの生産を意味することを忘れてはならない。軍縮と脱原発は今や国際世論の常識である。ヒロシマ・ナガサキ・第五福竜丸、そして福島第一原発事故の教訓は、「人間と核は共存できない」ことである。

J R 東海労は、北朝鮮に核軍拡政策の中止を求める。そして、予想される北朝鮮の核実験を口実とした日本の軍拡政策、それを後押しする世論操作にも反対する。あらゆる戦争政策や原発再稼働に反対して闘っていく。

2016年9月12日

J R 東海労働組合中央本部